

済広病発第 25号  
令和元年7月31日

広島県西部保健所長様  
〔広島県西部厚生環境事務所・保健所広島支所〕  
〔広島圏域地域医療構想調整会議事務局〕

社会福祉法人<sup>恩賜</sup>財団<sup>広島県</sup>済生会<sup>広島市</sup>広島病院  
院長 松本公治



公的医療機関等2025プランの改訂について（報告）

このことについて、平成30年1月19日付け済広病第80号及び平成31年1月31日付けで報告しました済生会広島病院の「公的医療機関等2025プラン」について、別添のとおり改訂を行いましたので報告します。

（改訂内容）

将来（2025年度）

急性期	206床	→	164床
回復期	106床	→	148床

済生会広島病院 公的医療機関等 2025 プランの改訂 新旧対照表

改訂前		今回の改訂 (案)									
<p>【1. 現状と課題】</p> <p>4 特色ある活動等</p> <p>(1) 当院は次の併設施設とともに、地域における保健、医療、介護、福祉を総合したサービスの提供に努めています。また、地域に根差した病院として地域住民の健康づくりのための活動を行っています。</p> <table border="1"> <tr> <td>併設施設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人保健施設</li> <li>介護福祉施設 (特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>訪問看護ステーション</li> <li>居宅介護支援事業所</li> <li>地域包括支援センター (坂町から受託)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>健康づくり活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の開催</li> <li>地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul> </td> </tr> </table>		併設施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人保健施設</li> <li>介護福祉施設 (特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>訪問看護ステーション</li> <li>居宅介護支援事業所</li> <li>地域包括支援センター (坂町から受託)</li> </ul>	健康づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の開催</li> <li>地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul>	<p>【1. 現状と課題】</p> <p>4 特色ある活動等</p> <p>(1) 当院は次の併設施設とともに、地域における保健、医療、介護、福祉を総合したサービスの提供に努めています。また、地域に根差した病院として地域住民の健康づくりのための活動を行っています。</p> <table border="1"> <tr> <td>併設施設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人保健施設</li> <li>介護福祉施設 (特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>訪問看護ステーション</li> <li>居宅介護支援事業所</li> <li>地域包括支援センター (坂町から受託)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>健康づくり活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の開催</li> <li>地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul> </td> </tr> </table>		併設施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人保健施設</li> <li>介護福祉施設 (特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>訪問看護ステーション</li> <li>居宅介護支援事業所</li> <li>地域包括支援センター (坂町から受託)</li> </ul>	健康づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の開催</li> <li>地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul>
併設施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人保健施設</li> <li>介護福祉施設 (特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>訪問看護ステーション</li> <li>居宅介護支援事業所</li> <li>地域包括支援センター (坂町から受託)</li> </ul>										
健康づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の開催</li> <li>地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul>										
併設施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人保健施設</li> <li>介護福祉施設 (特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>訪問看護ステーション</li> <li>居宅介護支援事業所</li> <li>地域包括支援センター (坂町から受託)</li> </ul>										
健康づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の開催</li> <li>地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul>										
改訂前		今回の改訂 (案)									
<p>【2. 今後の方針】</p> <p>I 地域において今後担うべき役割</p> <p>1 当院が担っている診療圏域においては、2025年まで、65歳以上人口、75歳以上人口ともに増加していきます。</p>		<p>I 地域において今後担うべき役割</p> <p>1 当院が担っている診療圏域においては、2025年まで、65歳以上人口、75歳以上人口ともに増加していきます。</p>									

当院のこれまでの診療実績からも、高齢患者に多い疾患に対する診療体制の充実に努め、地域における身近な総合的な病院としての要請に応えていきます。

また、救急告示病院としての役割を担っていきます。

2 病床機能については、地域医療構想を見据えて、平成28年度に回復期機能への移行と病床数の削減といった見直しを行い急性期機能と回復期機能による医療の提供体制としています。

さらに、実数・割合とも増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行い、身近な地域で完結できる医療体制を確保することを考慮した病床機能への要請に応えていきます。

3 地域包括ケアシステムの実現に向けては、併設する介護・福祉施設や在宅サービス事業所を含め地域の医療機関や関係機関と連携して、その推進に寄与していきます。

4 当院の特色ある取り組みとしての無料低額診療事業、生活困窮者支援事業についても、瀬戸内海巡回診療事業と同様に、要請に応じて当院の診療圏域の枠を超えて対応するなど、その推進を図ってまいります。

## II 今後持つべき病床機能

当院の病床機能としては、上記のとおり現状の急性期機能（262床）と回復期機能（50床）を急性期機能（206床）と回復期機能（106床）に移行していくこととしています。

当院のこれまでの診療実績からも、高齢患者に多い疾患に対する診療体制の充実に努め、地域における身近な総合的な病院としての要請に応えていきます。

また、救急告示病院としての役割を担っていきます。

2 病床機能については、地域医療構想を見据えて、平成28年度に回復期機能への移行と病床数の削減といった見直しを行い急性期機能と回復期機能による医療の提供体制としています。

さらに、実数・割合とも増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行い、身近な地域で完結できる医療体制を確保することを考慮した病床機能への要請に応えていきます。

また、これらに加え、当院の特色ある活動としての「地域リハビリテーション広域支援センター」に対する要請に応え、地域リハビリテーションの推進に寄与すべく、病床機能においてもリハビリテーションの体制強化を図ることとします。

3 地域包括ケアシステムの実現に向けては、併設する介護・福祉施設や在宅サービス事業所を含め地域の医療機関や関係機関と連携して、その推進に寄与していきます。

4 当院の特色ある取り組みとしての無料低額診療事業、生活困窮者支援事業についても、瀬戸内海巡回診療事業と同様に、要請に応じて当院の診療圏域の枠を超えて対応するなど、その推進を図ってまいります。

## II 今後持つべき病床機能

当院の病床機能としては、上記のとおり現状（平成28年度病床機能報告）の急性期機能（262床）と回復期機能（50床）を急性期機能（164床）と回復期機能（148床）に移行していくこととしています。

改訂前

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	平成28年度 病床機能報告	現在 (平成31年1月)	将来 (2025年度)
高度急性期			
急性期	280床	262床	206床
回復期	50床	50床	106床
慢性期			
(合計)	330床	312床	312床

<具体的な方針及び整備計画>

- ・増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行うため、本館4階病棟を急性期から回復期に変更（平成31年3月予定。病棟の大規模改修等はなし）

<参考> 当院における地域医療構想を見据えて実施した具体的な整備状況及び整備計画（許可病床数）

	平成27年9月	平成28年4月 (一部病棟改修)	平成29年3月 (一部病棟改修)	増減	将来 2025年度
急性期	330床	△50床	262床	△18床	206床
回復期	0床	+50床	50床	+50床	106床
合計	330床	330床	312床	△18床	312床

今回の改訂（案）

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	平成28年度 病床機能報告	現在 (令和元年7月)	将来 (2025年度)
高度急性期			
急性期	280床	206床	164床
回復期	50床	106床	148床
慢性期			
(合計)	330床	312床	312床

<具体的な方針及び整備計画>

- ・増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行うため、本館4階病棟を急性期から回復期（地域包括ケア病棟）に変更（平成31年3月。病棟の大規模改修等はなし）
- ・上記に加え、当院の特色ある活動としての「地域リハビリテーション広域支援センター」に対する要請が高まっていることから、リハビリテーション機能における体制強化を図るため、本館6階病棟を急性期から回復期（回復期リハビリテーション病棟）に変更（病棟の大規模改修等はなし）

<参考> 当院における地域医療構想を見据えて実施した具体的な整備状況及び整備計画（許可病床数）

	平成27年9月	平成28年4月 (一部病棟改修)	平成29年3月 (一部病棟改修)	増減	将来 2025年度
急性期	330床	△50床	262床	△56床	164床
回復期	0床	+50床	50床	+50床	148床
合計	330床	330床	312床	△18床	312床

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会支部 広島県済生会

済生会広島病院

公的医療機関等2025プラン

平成29年10月 策定

平成31年 1月 改訂

令和元年 7月 改訂

【済生会広島病院の基本情報】

(平成29年4月1日現在)

医療機関名 : 社会福祉法人<sup>財団</sup>済生会支部 広島県済生会  
済生会広島病院

開設主体 : 社会福祉法人<sup>財団</sup>済生会

所在地 : 広島県安芸郡坂町北新地二丁目3番10号

許可病床数 : 312床

(病床の種別) 一般 : 312床

(病床機能別) 急性期機能 : 262床、回復期機能 : 50床

稼働病床数 : 284床

(病床の種別) 一般 : 284床

(病床機能別) 急性期機能 : 234床、回復期機能 : 50床

診療科目 : 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、腫瘍内科、肝臓内科、小児科、  
精神科、心療内科、外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、大腸・肛門外科、脳神経外  
科、整形外科、形成外科、腫瘍外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

職員数 : 287人

- ・ 医師 : 28人
- ・ 看護職員 : 166人
- ・ 専門職 : 64人
- ・ 事務職員 : 29人

※ 平成29年3月31日現在の常勤職員数 (休職者を含む)

## 【1. 現状と課題】

### I 構想区域の現状

当院が属する広島地域構想区域における現状（当院のプラン作成との関連部分の抜粋）については、次のとおりとなっています。

#### 1 地域の概況

##### (1) 人口及び高齢者数

- 広島地域の総人口は、平成27（2015）年をピークに、その後減少に転じます。
- 一方、65歳以上の高齢者人口は平成52（2040）年まで増加を続けていき、総人口に占める割合は平成52（2040）年には35.1%、3人に一人が高齢者になります。
- また、75歳以上の後期高齢者人口は、平成42（2030）年まで増加が続き、その後減少に転じますが、総人口に占める割合は拡大を続け、平成52（2040）年は20.1%、5人に一人が後期高齢者になります。

図表1 人口・高齢者数の推計（広島地域）

広島地域	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)
総人口 ①	1,349,266	1,357,496	1,349,082	1,329,204	1,301,188	1,266,365	1,226,247
65歳以上人口 ②	283,745	344,822	373,331	384,558	393,564	406,479	430,471
地域人口に対する割合 ②/① (%)	21.0%	25.4%	27.7%	28.9%	30.2%	32.1%	35.1%
75歳以上人口 ③	132,593	160,934	193,851	234,587	248,122	247,090	246,810
地域人口に対する割合 ③/① (%)	9.8%	11.9%	14.4%	17.6%	19.1%	19.5%	20.1%

出典：平成22（2010）年は国勢調査

平成27（2015）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25（2013）年3月推計）

- 広島地域を広島市、海田地域（安芸郡4町）、芸北地域（安芸高田市及び山県郡2町）に分けて見ると、芸北地域においては、総人口が大きく減少する中、広島市や海田地域に比べて高齢化が早く進行しており、長期的な人口推計では高齢者数は減少し、更に生産年齢人口が大幅に減少するため支える側の人材も不足することが予測されます。

図表2 地域別人口の推計（広島市）

区分	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)
広島市総人口	1,173,843	1,173,164	1,093,410	100.0	99.9	93.1
(再掲)65歳以上	236,958	332,754	380,932	100.0	140.4	160.8
対 総人口 (%)	20.2%	28.4%	34.8%	-	-	-
(再掲)75歳以上	108,499	201,983	217,290	100.0	186.2	200.3
対 総人口 (%)	9.2%	17.2%	19.9%	-	-	-

図表3 地域別人口の推計（海田地域：府中町、海田町、熊野町、坂町）

区分	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)
海田地域総人口	116,712	108,612	98,251	100.0	93.1	84.2
(再掲)65歳以上	25,448	31,186	32,433	100.0	122.5	127.4
対 総人口 (%)	21.8%	28.7%	33.0%	-	-	-
(再掲)75歳以上	10,875	19,269	17,990	100.0	177.2	165.4
対 総人口 (%)	9.3%	17.7%	18.3%	-	-	-

出典：平成22（2010）年は国勢調査

平成27（2015）年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25（2013）年3月推計）

図表4 地域別人口の推計（芸北地域：安芸高田市，安芸太田町，北広島町）

区 分	平成22年	平成37年	平成52年	平成22年	平成37年	平成52年
	(2010)	(2025)	(2040)	(2010)	(2025)	(2040)
芸北地域総人口	58,711	47,428	37,585	100.0	80.8	64.0
(再掲)65歳以上	21,339	20,618	17,106	100.0	96.6	80.2
対 総人口 (%)	36.3%	43.5%	45.5%	-	-	-
(再掲)75歳以上	13,219	13,335	11,530	100.0	100.9	87.2
対 総人口 (%)	22.5%	28.1%	30.7%	-	-	-

出典：平成22（2010）年は国勢調査

平成27（2015）年以降は，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25（2013）年3月推計）

(2) 医療提供体制の現状

① 医療機関数・病床数

○ 広島地域の病院数は平成25（2013）年現在で100施設（人口10万人当たり7.5施設）となっており，全国平均の人口10万人当たり病院数6.7施設を0.8施設上回っています。

○ 一般診療所は，1,341施設（人口10万人当たり100.1施設），そのうち有床診療所118施設（人口10万人当たり8.8施設），歯科診療所795施設（人口10万人当たり59.4施設）となっています。

図表5 病院施設数・病院病床数

※上段は実数，下段は人口10万対

区 分	病院施設数			病院病床数					
	一般病院	精神科病院	精神科病床	一般病床	療養病床	精神科病床	結核病床	感染症病床	
広島地域	100	12	17,352	9,009	4,623	3,609	59	52	
	7.5	0.9	1,295.5	672.6	345.2	269.5	4.4	3.9	
広島県	248	31	40,853	21,401	10,196	9,039	155	62	
	8.7	1.1	1,438.5	753.6	359.0	318.3	5.5	2.2	
全国	8,540	1,066	1,573,772	897,380	328,195	339,780	6,602	1,815	
	6.7	0.8	1,236.3	704.9	257.8	266.9	5.2	1.4	

注）精神科病院とは，精神科病床のみを有する病院。出展：厚生労働省「医療施設調査」（平成25（2013）年）

図表6 一般診療所数・歯科診療所数

※上段は実数，下段は人口10万対

区 分	一般診療所						歯科診療所
	施設数	有床診療所		病床数	療養病床		施設数
		有床診療所	無床診療所		一般病床	療養病床	
広島地域	1,341	118	1,223	1,714	1,447	267	795
	100.1	8.8	91.3	128.0	108.0	19.9	59.4
広島県	2,598	256	2,342	3,651	3,015	636	1,556
	91.5	9.0	82.5	128.6	106.2	22.4	54.8
全国	100,528	9,249	91,279	121,342	108,869	12,473	68,701
	79.0	7.3	71.7	95.3	85.5	9.8	54.0

出展：厚生労働省「医療施設調査」（平成25（2013）年）



## 2 平成37（2025）年の医療需要と医療提供体制

### (1) 平成37（2025）年における病床数の必要量（必要病床数：暫定推計値）

#### ① 病床機能報告制度の状況

- 広島地域の医療機関の病床機能報告では、病床全体は1万4,180床で県内の43.0%を占めています。また、機能別にみると高度急性期2,858床（20.2%）、急性期5,591床（39.4%）、回復期1,400床（9.9%）、慢性期4,213床（29.7%）の報告がありました。
- 平成37（2025）年の必要病床数と平成26（2014）年の病床数を比較する（図表8）と、回復期の病床が不足する見込みです。

図表7 平成26（2014）年7月1日時点の機能別病床数

区分	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未選択
広島地域	14,180床	2,858床	5,591床	1,400床	4,213床	118床
	100.0%	20.2%	39.4%	9.9%	29.7%	0.8%
広島県	32,971床	4,787床	14,209床	3,284床	10,368床	323床
	100.0%	14.5%	43.1%	10.0%	31.4%	1.0%

出典：厚生労働省「病床機能報告」（平成26（2014）年）

図表8 病床機能報告制度による病床数と平成37（2025）年における必要病床数の過不足

区分		平成26（2014）年における機能別病床数（病床機能報告）	平成37（2025）年における必要病床数（暫定推計値）	平成26（2014）年と平成37（2025）年の比較	
		①（床）	②（床）	病床数の過不足	増減率
				③（①-②）（床）	④（-③/①）
広島地域	高度急性期	2,858	1,584	1,274	△ 45%
	急性期	5,591	4,241	1,350	△ 24%
	回復期	1,400	4,505	△ 3,105	222%
	慢性期	4,213	2,730	1,483	△ 35%
	未選択	118		118	
	病床計	14,180	13,063	1,117	△ 8%
広島県	高度急性期	4,787	2,989	1,798	△ 38%
	急性期	14,209	9,118	5,091	△ 36%
	回復期	3,284	9,747	△ 6,463	197%
	慢性期	10,368	6,760	3,608	△ 35%
	未選択	323		323	
	病床計	32,971	28,614	4,357	△ 13%

\*慢性期機能の必要病床数：広島、広島中央、福山・府中地域はパターンB、広島西、呉、尾三、備北地域はパターンCで推計。

## II 構想区域の課題

当院が属する広島地域構想区域における将来のあるべき医療・介護提供体制を実現するための施策としての現状・課題及び方向性（当院のプラン作成との関連部分の抜粋）については、次のとおりとなっています。

### 1 病床の機能の分化及び連携の促進

#### ① 広島市及び海田地域の医療提供体制

##### 【現状・課題】

- 高度急性期、急性期医療を担う病院が多い一方で、回復期の医療を提供する病院が少なく、高度急性期・急性期医療を終えた患者に必要な回復期医療を提供する病院への転院が円滑に進まない状況が生じています。
- 今後の高齢化の進行により医療ニーズが増加する中、高度急性期、急性期、回復期及び慢性期のそれぞれの役割を担う医療機関が適切な役割分担の下で連携し、患者にシームレスな医療が提供できる体制の実現を図る必要があります。
- 広島市においては高度な医療を提供する病院が近距離に立地しており、4基幹病院（広島大学病院、広島市立広島市民病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院）においては、重複した機能が少なくないなど、役割分担が明確になっていない状況です。

##### 【施策の方向性】

- 急性期病床の回復期病床への転換を進めます。特に医療資源が少なく病床の機能分化が進みにくい北部地域にあっては、行政をはじめ関係機関が連携した取組を進めます。
- 基幹病院の機能分化と連携強化を進めることで、効率的かつ高度な、また医師にとっても魅力的な医療提供体制の実現に取り組みます。

#### ② 病床の機能分化の促進

##### 【現状・課題】

- 病床の機能の分化については、各医療機関が病床機能報告及び地域医療構想を踏まえて自院の病床機能を選択することになりますが、広島地域では、平成37（2025）年において、回復期病床数の必要量が不足すると見込まれます。

##### 【施策の方向性】

- 地域医療構想調整会議において、地域の関係者が将来必要となる医療・介護提供体制の実現に向けて、継続して協議・調整を行っていきます。また、回復期病床が不足すると見込まれていることから、回復期病床への転換を進めます。

### 2 地域包括ケアシステムの確立

##### 【現状・課題】

- 今後の75歳以上の高齢者の増加を見据えて、介護が必要な状態になっても高齢者ができる限り在宅で暮らすことができるよう、退院から看取りまで24時間・365日対応できる在宅医療・介護サービス提供基盤の充実を図るとともに、在宅医療と介護の連携の推進を図ることが必要です。

##### 【施策の方向性】

- 広島市では、医療ニーズの高い要介護者等が安心して在宅療養を送られるよう、在宅療養支援診療所、訪問歯科診療を提供する歯科診療所、訪問看護事業所等の在宅医療提供体制の整備・充実や在宅医療を支える後方支援病院の確保・調整など各区医師会と連携し、在宅医療推進拠点の機能の充実を図ります。

加えて、介護と看護が密接に連携してサービス提供を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護や看護小規模多機能型居宅介護のサービス事業所の整備を促進するなど、在宅医療・介護サービス提供体制の充実を図ります。

- また、医療関係者と介護関係者等で構成する市及び各区の在宅医療・介護連携推進委員会において、在宅医療・介護連携を推進する具体的方策等について幅広く情報交換、意見交換

を行いながら、医療関係者と介護関係者の顔の見える関係づくりや、市民の在宅ケアに関する理解促進など、関係者の協働した取組を推進します。

- 海田地域では10年以上前から地元病院の協力を得て在宅緩和ケアの事例検討を行っています。また、芸北地域でも安芸高田地区と山県地区に分かれて在宅緩和ケア症例検討会や講演会などを企画・実施しています。今後も引き続きこうした取組により、より充実した緩和ケアを目指していきます。
- また、安芸地区歯科衛生連絡協議会及び海田地域保健対策協議会においては、在宅歯科医療の体制整備や、在宅医療・介護連携についての研修会を実施するなど、行政と関係団体が連携して口腔ケアを推進します。

### III 済生会広島病院の現状

#### 1 理念、基本方針等

済生会広島病院は、昭和62年に開設以来、明治天皇から賜った済生勅語の趣旨を体し、次のとおり法人全体としての目標と、済生会広島病院の理念・行動方針により、併設施設と地域の保健・医療・福祉を統合して、地域の人々の健康と福祉を守ることを使命としています。

##### (1) 法人全体

###### <目標>

- 生活困窮者を済（すく）う
- 医療で地域の生（いのち）を守る
- 医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供

##### (2) 済生会広島病院

###### <理念>

優しく、温かく、確かな医療

###### <基本方針>

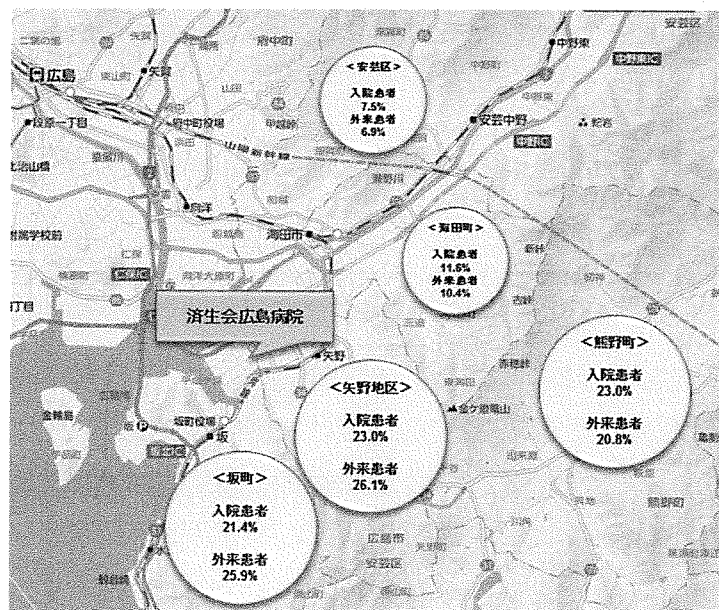
- 信頼される病院として最善の医療を提供します
- 保健・医療・福祉を連携した総合的なサービスを提供します
- 救急医療を含めた地域のニーズに応えます
- 病診・病病連携を強化し地域医療に貢献します
- 済生会職員として和を重んじ活気のある職場にします

#### 2 診療実績等

(1) 当院は、広島二次保健医療圏に属しているものの、その南東の端にあり、呉二次保健医療圏や広島中央二次保健医療圏との境界の近くに位置しており、診療機能としても、高度急性期機能は担っていないことから、安芸郡のうち坂町、海田町及び熊野町並びに広島市安芸区のうち矢野地区を中心とした区域が主たる診療圏域となっています。

患者の約90%が下図に表示している地域で、残り10%は広島市内、呉市内、東広島市内からの受け入れとなっています。

図表9 当院の地域別患者数



(2) 患者層としては、入院、外来とも75歳以上の占める割合が高く、増加してきています。

図表10 当院の年齢別患者数

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入 院	0～14歳	59	118	59	68
	15～64歳	11,500	11,610	9,966	8,584
	65～74歳	12,960	12,316	12,714	12,599
	75歳以上	(68.4%) 53,121	(67.9%) 50,836	(69.3%) 51,349	(72.0%) 54,578
	合計	77,640	74,880	74,088	75,829
外 来	0～14歳	3,815	3,160	2,741	2,351
	15～64歳	31,948	30,689	27,966	26,536
	65～74歳	31,296	32,432	31,886	30,280
	75歳以上	(38.7%) 42,274	(39.4%) 43,088	(41.0%) 43,568	(44.2%) 46,845
	合計	109,333	109,369	106,161	106,012

注) 単位：人 75歳以上の上段カッコ内は、各合計に対する割合

(3) 主な届出や診療実績については次のとおりです。

図表11 当院の主な届出や診療実績

一般病棟入院基本料	10対1入院基本料
平均在院日数	一般 17.3日 (平成28年度実績)
特定入院料	地域包括ケア病棟入院料
病床稼働率	76.9% (平成28年度実績)
救急医療の状況	救急告示
臨床研修指定	協力型

(4) 他の医療機関との連携状況については次のとおりです。

図表12 当院の病診連携等の状況

区 分		施設数等
病診連携	中 区	1
	東 区	1
	南 区	3
	安芸区	14
	海田町	12
	坂 町	7
	熊野町	1
	計	39
病病連携	中 区	1
	南 区	2
	計	3
逆紹介率		71.5%

注) 施設数：平成29年9月末現在、逆紹介率：平成28年度実績

### 3 病床機能等の状況

当院は、昭和62年10月に50床で開設以来、その後の地域の医療需要等に応じ、その病床機能が変化してきており、近年では次のとおり見直しを行っています。

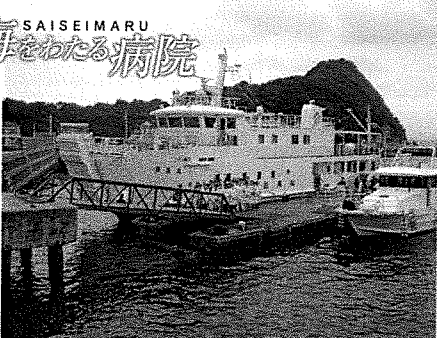
- 平成26年の診療報酬改定に伴い亜急性期入院病床(27床)を同年9月末で閉鎖(全床を急性期機能)
- 平成28年4月に地域包括ケア病棟(1病棟50床)を開設(回復期機能と位置づけ)
- 平成29年3月には、一部病棟改修を機に許可病床330床を312床とし、18床の削減

### 4 特色ある活動等

(1) 当院は次の併設施設とともに、地域における保健、医療、介護、福祉を総合したサービスの提供に努めています。また、地域に根差した病院として地域住民の健康づくりのための活動を行っています。

併設施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人保健施設</li> <li>・介護福祉施設(特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム)</li> <li>・訪問看護ステーション</li> <li>・居宅介護支援事業所</li> <li>・地域包括支援センター(坂町から受託)</li> </ul>
健康づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康講座の開催</li> <li>・地域リハビリテーション広域支援センターとしての活動</li> </ul> <p>平成30年度から、広島市の「リハビリテーション専門職派遣調整業務」を受託 令和元年度から、広島県の「広島県地域リハビリテーション事業 圏域ネットワーク構築業務」を受託</p>

(2) 当院は通常の医療のほか、法人の設立趣旨や目標の実現のため、次のような事業に積極的に取り組んでいます。

無料低額診療事業	低所得者に対しては診療費の自己負担分を免除又は減免する事業
生活困窮者支援事業	ホームレス、更生保護施設入所者、DV被害者に対する健診・診療を関係機関と連携して実施
瀬戸内海巡回診療事業	<p>岡山・広島・香川・愛媛の4県の瀬戸内海の離島等を診療船「済生丸」で巡回して診療や健診を行う事業で、行政等の支援のもと、広島県内では済生会呉病院と共同で実施</p> <p>活動区域は、呉市、三原市、尾道市、大崎上島町などの島嶼部等</p> 

## 5 当院の診療圏域の現状

当院の診療圏域は、主として安芸郡のうち坂町、海田町及び熊野町並びに広島市安芸区のうち矢野地区ですが、この区域を含む安芸郡4町と広島市安芸区の人口等の状況は、次のとおりとなっています。

### (1) 人口の現状と将来推計

この診療圏域の長期的な人口推計では、総人口では減少しているものの、高齢者は実数、対総人口割合ともに増加することが予測されています。

図表 13 当院の診療圏域の人口の推計（診療圏域：安芸郡4町と安芸区）

区分	平成22年	平成37年	平成52年	平成22年	平成37年	平成52年
	(2010)	(2025)	(2040)	(2010)	(2025)	(2040)
診療圏域総人口	195,501	188,962	171,577	100	97	88
(再掲)65歳以上	41,593	53,443	57,749	100	128	139
対 総人口 (%)	21.3%	28.3%	33.7%	-	-	-
(再掲)75歳以上	17,774	33,330	32,371	100	188	182
対 総人口 (%)	9.1%	17.6%	18.9%	-	-	-

(注) 安芸郡4町と安芸区の人口推計の内訳は参考資料を参照

### (2) 医療供給体制

当院の診療圏域（安芸郡4町と安芸区）における医療供給体制（病院）の状況を、一般病床の病床数を人口10万人対で見ると、次のとおりとなっています。

図表 14 人口10万人対の医療体制（病院）の状況

		一般病院数	病院病床数	
			一般病床	療養病床
安芸郡4町と安芸区 (人口：195,501人)	実数	7	781	237
	人口10万人対	3.6	399.5	121.2
広島地域	実数	88	9,009	4,623
	人口10万人対	6.6	672.6	345.2
広島県	実数	217	21,401	10,196
	人口10万人対	7.6	753.6	359.0
全 国	実数	7,474	897,380	328,195
	人口10万人対	5.9	704.9	257.8

出展：全国、広島県、広島地域の数値は、広島県地域医療構想の図表5-1-5から抜粋

安芸郡4町と安芸区の人口は平成22（2010）年国勢調査、実数は平成27年度第1回海田地域保健対策協議会 医療福祉専門部会 資料P4～8のうち、一般病床及び療養病床を有する病院を抜粋（病院毎の内訳は参考資料を参照）

### (3) 機能別病床数の状況

- ① 当院の診療圏（安芸郡4町と安芸区）における機能別病床数の状況は、平成26（2014）年7月1日時点、人口10万人対で見ると次のとおりとなっています。

図表15 人口10万人対の機能別病床数（平成26年ベース）

区分		全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未選択
安芸郡4町と安芸区 (人口：195,501人)	実数	1,089	7	626	179	205	72
	10万人対	557.0	3.6	320.2	91.6	104.9	36.8
広島地域 (人口：1,349,266)	実数	14,180	2,858	5,591	1,400	4,213	118
	10万人対	1,050.9	211.8	414.4	103.8	312.2	8.7
広島県 (人口：2,860,750人)	実数	32,971	4,787	14,209	3,284	10,368	323
	10万人対	1,152.5	167.3	496.7	114.8	362.4	11.3

出展：広島県、広島地域の数値は、広島県地域医療構想の図表5-1-12から抜粋

安芸郡4町と安芸区の人口は平成22（2010）年国勢調査、実数は平成27年度第1回広島圏地域医療構想調整会議 資料P8～11から抜粋（病院毎の内訳は参考資料を参照）

- ② なお、当院には未選択の病床があり、また病床数を見直しているため、当院の状況を平成27年9月の地域医療構想調整会議の開始時点に置き換えると次のとおりとなります。

図表16 人口10万人対の機能別病床数（当院の未報告等を修正後）

区分		全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未選択
安芸郡4町と安芸区 (人口：195,501人)	実数	1,089	7	736	129	205	12
	人口10万人対	557.0	3.6	376.5	66.0	104.9	6.1
広島地域 (人口：1,349,266)	実数	14,180	2,858	5,591	1,400	4,213	118
	人口10万人対	1,050.9	211.8	414.4	103.8	312.2	8.7
広島県 (人口：2,860,750人)	実数	32,971	4,787	14,209	3,284	10,368	323
	人口10万人対	1,152.5	167.3	496.7	114.8	362.4	11.3



#### IV 済生会広島病院の課題

- 1 当院では、医師をはじめとする医療スタッフの不足により、地域の医療需要に十分に応えられていないという状況があります。このため、一時期1病棟を閉鎖（看護師不足による）せざるを得ないこともありました。（平成29年3月に再開）

また、常勤医師から非常勤医師となった診療科においては、入院の受け入れができないことから、患者からは身近な病院での十分な診療ができるようにと、救急医療を含め診療体制の強化に関する多くの意見が寄せられています。

- 2 特に、当院では、現状でも高齢患者の数及び割合が多く、今後2025年に向けても増加することが予測される中、高齢者に多い呼吸器系、皮膚科系、眼科系、泌尿器科系疾患への診療体制の充実が求められています。

また、当院の診療圏域の中では、小児科の診療体制が不足していると考えられます。

- 3 地域包括ケアシステムの実現においては、当院が推進している地域における保健、医療、介護、福祉を総合したサービスの提供が重要になっていますので、併設の施設との連携にとどまらず、地域の在宅系を含む関係機関とのより一層の連携が求められています。

- 4 病院運営を取り巻く環境が厳しい中であっても、当院では、社会福祉法人として、また法人の設立趣旨等を実現するための事業（Ⅲ 4 (2) 参照）を実施しています。法人全体としては、さらに当院が未着手の障害者や貧困家庭の児童等を対象に広げること、また医療・福祉以外の幅広い支援を目指していることから、当院としても行政、NPO法人、ボランティア団体等との連携を図りながら、取り組みの一層の充実が求められています。

特に、無料低額診療事業では、社会福祉法人としての10%基準を達成できていないため、当該基準達成に向けて関係団体等との連携強化が求められています。

## 【2. 今後の方針】

### I 地域において今後担うべき役割

- 1 本院が担っている診療圏域においては、2025年まで、65歳以上人口、75歳以上人口ともに増加していきます。  
本院のこれまでの診療実績からも、高齢患者に多い疾患に対する診療体制の充実に努め、地域における身近な総合的な病院としての要請に応じていきます。  
また、救急告示病院としての役割を担っていきます。
- 2 病床機能については、地域医療構想を見据えて、平成28年度に回復期機能への移行と病床数の削減といった見直しを行い急性期機能と回復期機能による医療の提供体制としています。  
さらに、実数・割合とも増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行い、身近な地域で完結できる医療体制を確保することを考慮した病床機能への要請に応じていきます。  
また、これらに加え、本院の特色ある活動としての「地域リハビリテーション広域支援センター」に対する要請に応え、地域リハビリテーションの推進に寄与すべく、病床機能においてもリハビリテーションの体制強化を図ることとします。
- 3 地域包括ケアシステムの実現に向けては、併設する介護・福祉施設や在宅サービス事業所を含め地域の医療機関や関係機関と連携して、その推進に寄与していきます。
- 4 本院の特色ある取り組みとしての無料低額診療事業、生活困窮者支援事業についても、瀬戸内海巡回診療事業と同様に、要請に応じて本院の診療圏域の枠を超えて対応するなど、その推進を図ってまいります。

### II 今後持つべき病床機能

本院の病床機能としては、上記のとおり現状（平成28年度病床機能報告）の急性期機能（262床）と回復期機能（50床）を急性期機能（164床）と回復期機能（148床）に移行していくこととしています。

### III その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	平成28年度 病床機能報告		現在 (令和元年7月)		将来 (2025年度)
高度急性期					
急性期	280床		206床		164床
回復期	50床	→	106床	→	148床
慢性期					
(合計)	330床		312床		312床

<具体的な方針及び整備計画>

- ・増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行うため、本館4階病棟を急性期から回復期（地域包括ケア病棟）に変更（平成31年3月。病棟の大規模改修等はなし）
- ・上記に加え、当院の特色ある活動としての「地域リハビリテーション広域支援センター」に対する要請が高まっていることから、リハビリテーション機能における体制強化を図るため、本館6階病棟を急性期から回復期（回復期リハビリテーション病棟）に変更（病棟の大規模改修等はなし）

<参考> 当院における地域医療構想を見据えて実施した具体的な整備状況及び整備計画（許可病床数）

	平成27年9月	増減	平成28年4月 (地域包括ケア病棟開設)	増減	平成29年3月 (一部病棟改修)	増減	平成29年3月	増減	将来 2025年度
急性期	330床	△50床	280床	△18床	262床	△56床	206床	△42床	164床
回復期	0床	+50床	50床	—	50床	+56床	106床	+42床	148床
合計	330床	—	330床	△18床	312床	—	312床	—	312床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	_____	_____	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     集中的な検討を促進 2年間程度で                 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">第7期 介護保険 事業計画</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">第8期 介護保険 事業計画</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     第7次医療計画                 </div> </div>
2018年度	_____	_____	
2019～2020 年度	_____	_____	
2021～2023 年度	_____	_____	

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	本プラン策定時点 (平成29年10月)		現在 (平成31年1月)		将来 (2025年度)
維持	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、腫瘍内科、肝臓内科、小児科、精神科、心療内科、外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、大腸・肛門外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、腫瘍外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科	→	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、腫瘍内科、肝臓内科、小児科、精神科、心療内科、外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、大腸・肛門外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科(※)、形成外科、腫瘍外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科	→	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、腫瘍内科、肝臓内科、小児科、精神科、心療内科、外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、大腸・肛門外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、形成外科、腫瘍外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
新設		→	※ 平成30年9月 皮膚科を新設 (増加する高齢患者に対応するため)	→	—————
廃止	—————	→	—————	→	
変更・統合	—————	→	—————	→	—————

③ その他の数値目標について

<u>医療提供に関する項目</u>	
・ 病床稼働率	: 79.6%
・ 手術室稼働率	: 61.0%
・ 紹介率	: 60.0%
・ 逆紹介率	: 80.0%
<u>経営に関する項目*</u>	
・ 人件費率	: 42.2%
・ 業業収益に占める人材育成にかかる費用(職員研修費等)の割合	: 0.36%

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

#### 【4. その他】

(自由記載)

広島地域の地域医療構想のうち広島市及び海田地域の病床の機能の分化及び連携の促進に係る施策の方向性としては、「急性期病床の回復期病床への転換を進めます。」となっています。

ただ、広島地域の中でも、芸北地域に関しては、『高齢化、人口減少が進む』ことに応じた施策の方向性が示され、そして広島市の中でも北部地域にあつては『特に医療資源が少なく病床の機能分化が進みにくい』ことに応じた施策の方向性が示されています。

一方、当院の診療圏域である安芸郡4町と安芸区の特性に視点を当てた施策の方向性は示されていませんが、図表14のとおり当院の診療圏域は、人口10万人対の一般病床数、同療養病床数が広島地域や広島県に比べ少ない状況にあります。

このため、当院としては、① この地域の医療資源の状況を踏まえること、② 2025年に向けて実数・割合とも増加が進む高齢者への安定的な医療の提供を行うこと、③ 機能区分によっては身近な地域で完結できる医療体制を確保することを考慮した病床機能とすることも必要ではないかと考えます。

また、回復期機能や慢性期機能においては、地域における高齢者の介護・福祉施設との連携も重要となるものと考えますので、介護・福祉に係る地域の資源を踏まえた検討も必要ではないかと考えます。



## 参 考 资 料

1 当院の診療圏域（安芸郡4町と安芸区）の状況

(1) 人口の現状と将来推計（P11の補足資料）

図表 13 関係 当院の診療圏域の人口の推計（診療圏域：安芸郡4町と安芸区）

区分	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)
診療圏域総人口	195,501	188,962	171,577	100	97	88
(再掲)65歳以上	41,593	53,443	57,749	100	128	139
対 総人口(%)	21.3%	28.3%	33.7%	-	-	-
(再掲)75歳以上	17,774	33,330	32,371	100	188	182
対 総人口(%)	9.1%	17.6%	18.9%	-	-	-

(安芸郡4町と安芸区の内訳)

	総数(人)			65歳以上(人)			75歳以上(人)		
	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)	平成22年 (2010)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)
広島市	1,173,843	1,173,164	1,093,410	236,958	332,754	380,932	108,499	201,983	217,290
	100	100	93	100	140	161	100	186	200
うち安芸区①	78,789	80,350	76,325	16,145	22,257	25,316	6,899	14,061	14,381
	100	102	97	100	138	157	100	204	208
府中町②	50,442	47,538	42,350	10,055	12,912	14,332	4,445	7,628	8,077
	100	94	84	100	128	143	100	172	182
海田町③	28,475	26,363	23,116	5,514	6,887	7,393	2,318	4,106	3,942
	100	93	81	100	125	134	100	177	170
熊野町④	24,533	21,789	17,651	6,534	7,719	6,867	2,426	5,174	3,838
	100	89	72	100	118	105	100	213	158
坂町⑤	13,262	12,922	12,135	3,345	3,668	3,841	1,686	2,361	2,133
	100	97	92	100	110	115	100	140	127
安芸郡⑥ (②+③+④+⑤)	116,712	108,612	95,252	25,448	31,186	32,433	10,875	19,269	17,990
	100	93	82	100	123	127	100	177	165
安芸郡・安芸区 (①+⑥)	195,501	188,962	171,577	41,593	53,443	57,749	17,774	33,330	32,371
	100	97	88	100	128	139	100	188	182
	対 総人口(%)			21.3	28.3	33.7	9.1	17.6	18.9

出展：安芸郡4町については、広島県地域医療構想から抜粋

安芸区については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25（2013）年3月推計）によるが、平成37年の実数がなく、人口割合で示されていたため、下記により推計

安芸区の総人口（平成37年、人） ①		80,350
安芸区の人口割合（平成37年、%） ②	65歳以上	27.7
	75歳以上	17.5
安芸区の人口の推計（人） ①×②÷100	65歳以上	22,257
	75歳以上	14,061



(2) 医療供給体制 (P11の補足資料)

図表14関係 人口10万人対の医療体制(病院)の状況

		一般病院数	病院病床数	
			一般病床	療養病床
安芸郡4町と安芸区 (人口:195,501人)	実数	7	781	237
	人口10万人対	3.6	399.5	121.2
広島地域	実数	88	9,009	4,623
	人口10万人対	6.6	672.6	345.2
広島県	実数	217	21,401	10,196
	人口10万人対	7.6	753.6	359.0
全 国	実数	7,474	897,380	328,195
	人口10万人対	5.9	704.9	257.8

出展: 全国、広島県、広島地域の数値は、広島県地域医療構想の図表5-1-5から抜粋

安芸区+安芸郡4町の実数は、平成27年度第1回海田地域保健対策協議会 医療福祉専門部会 資料P4~8のうち、一般病床及び療養病床を有する次の病院を抜粋

(病院毎の病床数)

	施設名	市町村名	一般病床	療養病床	合計	救急告示
1	松石病院	安芸区	58	0	58	○
2	瀬野白川病院	安芸区	0	99	99	
3	安芸市民病院	安芸区	80	60	140	○
4	マツダ病院	府中町	270	0	270	○
5	山本整形外科病院	海田町	20	38	58	○
6	南海田病院	海田町	23	40	63	
7	済生会広島病院	坂町	330	0	330	○
	計		781	237	1,018	

(3) 機能別病床数の状況 (P12の補足資料)

図表15関係 人口10万人対の機能別病床数(平成26年ベース)

区分		全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未選択
安芸郡4町と安芸区 (人口: 195,501人)	実数	1,089	7	626	179	205	72
	10万人対	557.0	3.6	320.2	91.6	104.9	36.8
広島地域 (人口: 1,349,266)	実数	14,180	2,858	5,591	1,400	4,213	118
	10万人対	1,050.9	211.8	414.4	103.8	312.2	8.7
広島県 (人口: 2,860,750人)	実数	32,971	4,787	14,209	3,284	10,368	323
	10万人対	1,152.5	167.3	496.7	114.8	362.4	11.3

出展: 広島県、広島地域の数値は、広島県地域医療構想の図表5-1-12から抜粋

広島市安芸区+海田地域(府中町、海田町、熊野町、坂町)の人口は平成22(2010)年国勢調査、実数は平成27年度第1回広島圏域地域医療構想調整会議資料P8~11から抜粋

(病院毎の内訳)

	施設名	市町村名	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未回答
1	松石病院	安芸区	58	0	58	0	0	0
2	瀬野白川病院	安芸区	99	0	0	18	81	0
3	安芸市民病院	安芸区	140	0	60	0	80	0
4	マツダ病院	府中町	270	7	209	54	0	0
5	山本整形外科病院	海田町	58	0	20	38	0	0
6	南海田病院	海田町	63	0	23	0	40	0
7	済生会広島病院	坂町	330	0	220	50	0	60
	病院計		1,018	7	590	160	201	60
8	加藤内科胃腸科医院	安芸区	12	0	0	0	0	12
9	はたのリハビリ整形外科	安芸区	4	0	0	0	4	0
10	シラネ外科胃腸科	安芸区	19	0	0	19	0	0
11	産科婦人科藤原クリニック	府中町	19	0	19	0	0	0
12	海田産婦人科クリニック	海田町	17	0	17	0	0	0
	有床診療所計		71	0	36	19	4	12
	合計		1,089	7	626	179	205	72